

# 建設部材の設計変更による24時間走行可能化 和歌山県

## 1. 実施者の概要

- 発荷主: 高田機工株式会社、着荷主: 発荷主と同じ
  - ・道路橋、鉄道橋等の鋼橋の設計、製作、架設
  - ・建築、公共施設等の鉄骨の設計、製作、架設
  - ・鋼橋上部の床版、舗装工事、標識、防護柵等の設置工事
- 実運送事業者: 西日本建設物流株式会社
  - ・建設部材(橋梁)の輸送(積込み・取卸し作業は実施しない)
- 荷種
  - ・橋梁架設工事のための建設部材

## 2. 事業概要

### 改善前

#### 【設計変更前の寸法(例)】

幅 3100mm

高さ 4150mm(車両への積付後の寸法)

- ・高速道路の通行許可を得られない  
(→ 24時間走行できない)
- ・一般道路(時間帯: 21時~6時)に限定

・往路で2泊3日による運行

### 改善後

#### 【設計変更】

幅 3000mm以内  
(▲100mm)

高さ 4100mm以内  
(▲50mm)

- ・高速道路の通行許可を得られた
- ・一般道路の通行時間帯の限定解除

高速道路、一般道路ともに  
24時間通行可能となった

・往路で1泊2日による運行  
(労働時間の縮減)

### 3. 課題

- ① 建設部材(橋梁)は横幅2500mmを超過する大型貨物であり、運行に際しては「特種車両通行許可」を要する。
- ② 車両への積付後、横幅3000mm超、高さ4100mm超になると、一般道路(主に21時～6時)利用に限定されることから、往路のみで2泊3日の運行となっている。改善基準告示の遵守はできているが、休息期間を含め2泊3日の行程とならざるを得ないため、長時間労働の是正、輸送効率向上の阻害要因となっている。

### 4. 事業内容

- ① 高速道路の通行許可が得られる基準となる積付後の寸法(横3000mm以内等)とするために、物流部門と設計部門が連携し、建設部材(橋梁)の設計変更を実施する。

### 5. 結果

- ① 建設部材(橋梁)の積付後の横幅を3000mm以内とすることで、高速道路の通行許可を取得でき、24時間走行が可能となった。
- ② 24時間走行が可能となり、2泊3日による運行から、1泊2日による運行にでき、労働時間が短縮化した。

### 6. 荷主企業のメリット

- ① 発着荷主は、以下の効果を得ることができた。
  - 輸送品質の確保
  - 到着時間の遵守
  - リードタイム(生産→納品)の短縮化

### 7. 結果に結びついたポイント

- ① 結果に結びついたポイントは、発荷主に物流に精通した優れた人材があげられる。安全輸送への理解が深く、輸送現場の実態を自ら足を運び、仔細に確認し、作業安全、安全運行が確保するための取組を徹底して実施している。さらに、実運送事業者の管理者、運転者と日頃から意見交換を実施し、それを輸送計画に反映するなど、高い現場感覚を身に付けており、物流に配慮した設計変更、作業安全、運行計画等を丁寧に実施している。



設計変更した建設部材の実際の積載状況

